

《わかりやすい^{けいかくばん}計画版》

だい き た ま し し ょ う が い ふ く し け い か く
第4期多摩市障害福祉計画

(^{た ま し}多摩市が、^{し ょ う が い の あ る 人 の ふ く し}しょうがいのある人のふくしを、^{ど れ だ け ふ や し}どれだけふやして
ていくかという^{けいかく}計画)

へいせい ねん ど へいせい ねん ど
(平成27年度～平成29年度)



へいせい ねん がつ
平成27年3月

た ま し
多摩市

このわかりやすい^{けいかくばん}計画版は、「第4期^{だい}多摩市^{たまし}障^{しょう}害^{がい}福祉^{ふくし}計画^{けいかく}」を、ちてき
しょうがいのある人^{ひと}にもわかるようにつくったものです。

しょうがいのある人^{ひと}やしえんをする人^{ひと}にきょうりよくしてもらい、わ
かりやすさをだいじにしてつくっています。

また、この^{けいかく}計画は、^{たまし}多摩市のしょうがいのある人^{ひと}や、しょうがいしゃ
^{だんたい}団体のだいひょう、^{だいがく}大学の^{せんせい}先生や、おいしゃさん、^{さぎょうじょ}しせつや作業所のし
ょくいんなどが、あつまって^{はな}話しあいながらつくりました。

^{けいかく}計画のくわしいことやわからない^{てん}点については、^{しやくしょ}市役所のしょうがい
ふくしかに、きいてください。

∞ ^{ひょうし}表紙の^{いらすと}イラストについて ∞

^{ひょうし}表紙の^{いらすと}イラストは、「^{じりつすてーしょん}自立ステーションつばさ」の^{おりかさとみこ}折笠富子さんの^{さくひん}作品です。

◆ も く じ ◆

だい1しょう この^{けいかく}計画について

- 1 ^{けいかく}計画のもくてき
- 2 ^{けいかく}計画のいちづけときかん
- 3 この^{けいかく}計画で^{さーびす}サービスを^{ひと}うけられる人
- 4 この^{けいかく}計画ができるまでのこと
- 5 「しょうがいしゃそうごうしえんほう」について
- 6 そのほか「かんけいするほうりつ」について

だい2しょう ^{くに}国のかんがえ方と、^{たまし}多摩市のもくひょう

- 1 みんなが^{さーびす}サービスをうけられるようにするためのこと
- 2 みんなが^{さーびす}サービスをうけられるようにするための^{かた}かんがえ方
- 3 ^{たまし}多摩市のもくひょう

だい3しょう ^{さーびす}サービスをどのくらいふやすかについて

- 1 ^{さーびす}サービスの^{けい}さんの^{しかた}しかた
- 2 ^{さーびす}サービスをふやすほうほう
1. しょうがいのある^{ひと}人の^{いえ}家に行^いってする^{さーびす}サービス
2. ひるまの^{いろ}いろな^{かつ}どうを^ささえる^{さーびす}サービス
3. ^{ぐる}グループ^ほホームとしせつ
4. ^{いろ}いろな^{そう}だんについての^{さーびす}サービス
5. しょうがいのある^こ子どもを^{たす}助けるための^{さーびす}サービス

だい4しょう みんなでささえるサービス

1. ちいきでの生活を助けるためのサービス
2. そのほかのいろいろなサービス

だい5しょう 計画のすすめかた

- 1 多摩市のとりくみかた
- 2 計画がちゃんとすすんでいるかをたしかめる
- 3 ちいきといっしょになったとりくみ
- 4 せいどがかわっていくので、それにあわせた多摩市のじゅんび
- 5 国や東京都にやってほしいこと

しりょうへん

- 1 多摩市にすすんでいる人の、にんずうのへんか
- 2 しょうがいしゃてちょうをもっている人のかず
- 3 しょうがいしゃにかんけいする、お金のへんか
- 4 多摩市が持っているお金が、これからどうなっていくか
- 5 計画ができるまでの話しあい
- 6 しみんいいんかいをつくるときのきまり
- 7 しみんいいんのなまえ
- 8 ぶかいのなまえ
- 9 市役所のいいんかいをつくるときのきまり
- 10 計画をつくるときにもらったいけん
- 11 「しょうがいしゃ生活じったいちょうさ」について
- 12 いろんなことばのいみ

第1章 この計画について

1 計画のもくてき

この計画は、しょうがいのある人のくらしをよりよくしていくために、どのくらいふくしのサービスをふやすか、ということを決めた計画です。この計画をすすめることで、しょうがいのある人が、ちいきで自分らしく、あたりまえにくらし、ちいきの人たちといっしょに生きるしゃかいをつくっていきます。

2 計画のいちづけときかん

(1) この計画のいちづけ

ア 「しょうがいしゃそうごうしえんほう」では、それぞれのちいきで、この計画をかならずつくらないといけないと、きめています。

イ 多摩市には、たくさんの計画があります。

○多摩市そうごう計画

多摩市にすんでいる人みんなが、あかるく、あんしんして、いきいきとくらせるまちになるようめざしてきめた、多摩市のまちづくりぜんたいについての計画。

○ちいきふくし計画

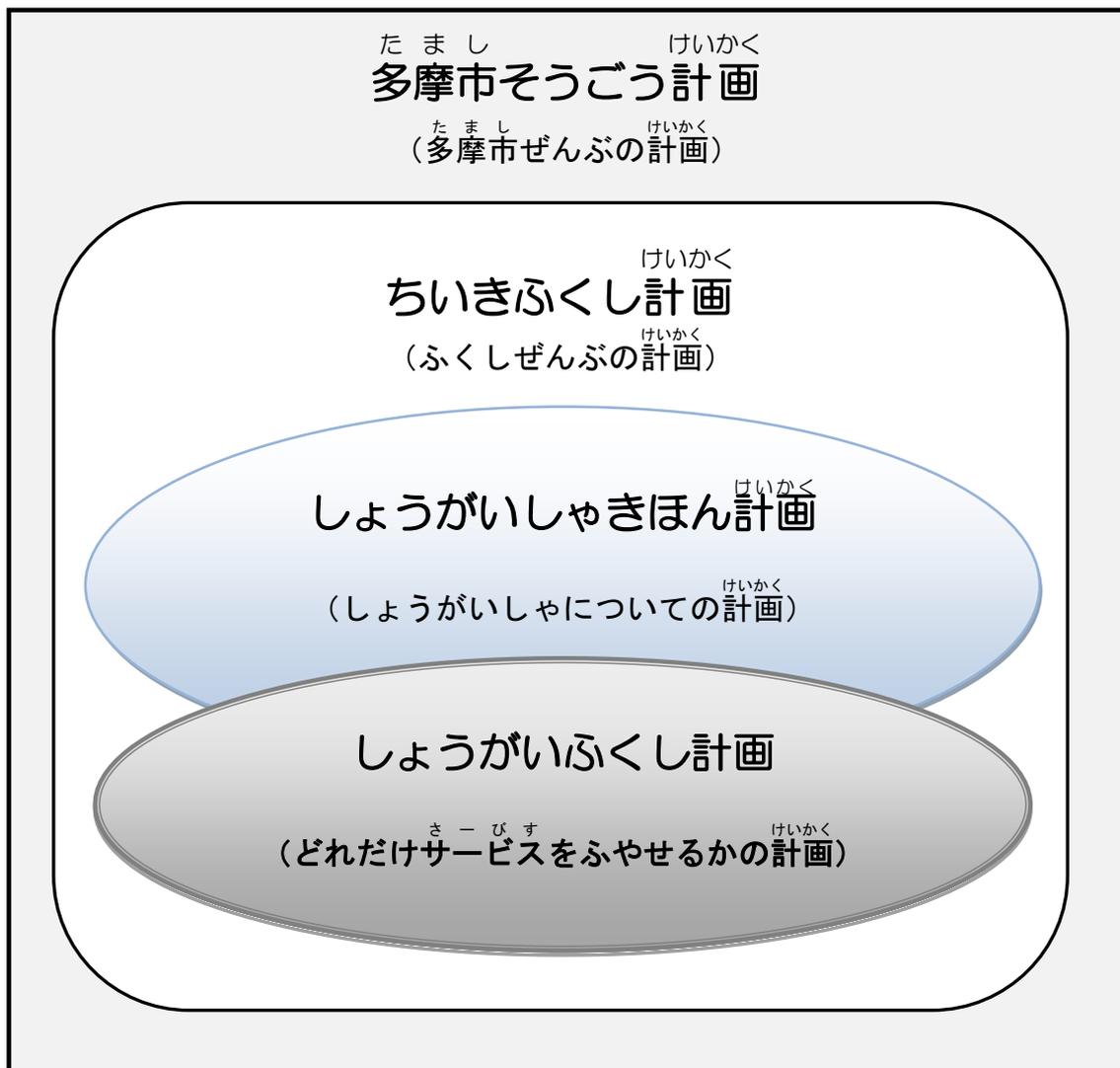
「多摩市そうごう計画」のなかで、しょうがいのある人、おとしより、子どもたちなど、すべての人がいきいきとあんしんしてくらせるまちづくりを進めるための計画。

○しょうがいしゃきほん^{けいかく}計画

「ちいきふくし^{けいかく}計画」のなかで、しょうがいのある^{ひと}人^{こと}の^{こと}についてきめた^{けいかく}計画。しょうがいのある^{ひと}人が、ちいきで自分らしく、あたりまえに^いらし、ちいきの人たちといっしょに生きていけるようなまちをめざすための^{けいかく}計画。

○しょうがいふくし^{けいかく}計画

「しょうがいしゃきほん^{けいかく}計画」から、ぐたいてきにどのくらい、ふくしの^{さーびす}サービスをふやすかということ^{こと}を、すうじをだしてきめた^{けいかく}計画。この^{けいかく}計画は、この^{けいかく}計画のことです。



(2) この計画のきかん

この計画は、平成27年4月から、平成30年3月までの、3年間の計画です。

3 この計画でサービスをうけられる人

多摩市にすんでいる人のなかで、

- からだにしょうがいのある人
- ちてきにしょうがいのある人
- せいしんにしょうがいのある人
- はったつしょうがいの人
- こうじのうきのうしょうがいの人
- なんびょうの人
- しょうがいがあつて、まいにちの生活や、ちいきで生きていくことがたいへんで、困っている人など

4 この計画ができるまでのこと

平成25年12月に、「多摩市しょうがいしゃ生活じつたいちょうさ」をしました。

これは、多摩市でくらしている、しょうがいのある人たちが、どのような生活をしているか、どれだけのふくしサービスをつかっているか、なにに困っているかなど、しらべたものです。しらべたことを、計画づくりに、やくだてました。

この計画をつくるために、多摩市のしょうがいのある人たちや、かいごしや、大学のせんせい、おいしゃさん、しせつのしょくいんなどがあつまり、「多摩市しょうがいふくし計画さくていしみんいいんかい」をつくりました。

このいいんかいで、みんなのかんがえたことをまとめて、計画の案をつく

りました。

また、よりおおく、みんなのかんがえをあつめるため「多摩市しょうがい
ふくし計画けいかくさくていぶかい」をつくりました。

このぶかいでは、しょうがいのある人ひとたちや、かいごしゃ、病院びょういんやしせ
つのしょくいんなど、おおくの人ひとたちがあつまりました。

自分じぶんのことや、しょうがいのある人ひとが、今いまどのような生活せいかつをしているか、
なににこままっているかなど、みんなみなで話しあい、これからどうしたらいいかを
かんがえました。

いいんかい

(しょうがいしゃ、かいごしゃ、大学だいがくの先生せんせい、
おいしゃさん、しせつのしょくいんなどのだいひょう)

ぶかいからの、話はなしをききながら、
この計画けいかくの、あんをつくりました

みんなみなの話はなしや
かんがえをききまし
た。

ぶかいのみんなで、
かんがえたことを、
つたえました。

ぶかい

(しょうがいしゃ、かいごしゃ、しせつのしょくいん
など、おおくの人ひとたち)

いまどのようなせいかつをしているか、なににこままってい
るか、どうしたらいいかなど、話しあいはなしました。

5 「しょうがいしゃそうごうしえんほう」について

平成24年6月に、あたらしく「しょうがいしゃそうごうしえんほう」ができました。「しょうがいしゃそうごうしえんほう」では、つぎのようなことがきめられています。

(1) このほうりつでサービス^{さーびす}をうけられる人^{ひと}がふえた

あたらしく、なんびょう^{ひと}の人^{ひと}も、サービス^{さーびす}をうけられるようになりました。

しょうがいしゃてちょうをもっていないなくても、なんびょう^{ひと}の人^{ひと}やたったしょうがい^{ひと}の人^{ひと}も、ひつようなふくしサービス^{さーびす}を、うけることができるようになりました。

(2) 「しょうがいしえんくぶん」にあたらしくかわった

これまでの「ていど」くぶんから「しえん」くぶんにかわりました。
「ていど」とは、「しょうがいのおもさ」
「しえん」とは、「ひつような^{たす}助け」
「くぶん」とは、「わける」
といういみです。

(3) しょうがいのある人^{ひと}へのしえんについて

①「じゅうどほうもんかいご」というサービス^{さーびす}を、しんたいしょうがいしゃだけでなく、ちてきやせいしんにおもいしょうがいがある人^{ひと}も、つかえるようになりました。

②これまでグループホーム^{ぐるーぷほーむ}とケアホーム^{けあほーむ}にわかれていたものが、グループホーム^{ぐるーぷほーむ}（共同生活援助^{きょうどうせいかつえんじょ}）にまとめられました。

③ちいきで生活^{せいかつ}するための助け^{たす}がひろがりました。

④しょうがいのある人^{ひと}について、もっとしてもらうこと、かいわ^{たす}を助ける人^{ひと}などをふやすこと、ちいきでの生活^{せいかつ}の手助け^{てだす}にかんけいするとりくみがふえました。

(4) サービス^{さーびす}をしっかりとすすめていくために

- ①計画^{けいかく}をきめて、みんながサービス^{さーびす}をうけられるようにしていきます。
- ②この計画^{けいかく}ができたあとも、ちゃんと計画^{けいかく}どおりすすめているかしらべたり、もんだいがあったら話し^{はな}あって、なおしていきます。
- ③多摩市^{たまし}は、この計画^{けいかく}をつくるまえに、しょうがいのある人^{ひと}たちの困^{こま}っていること、ひつようとしていることなどを、できるだけしらべなければいけません。
- ④「じりつしえんきょうぎかい」のなまえは、それぞれのちいきできめます。この話し^{はな}あいには、しょうがいのある人^{ひと}やそのかぞくもさんかします。

6 そのほか「かんけいするほうりつ」について

(1) しょうがいしゃけんりじょうやく

しょうがいのある人^{ひと}をさべつしないように、しょうがいのある人^{ひと}のけんりとしゅうをまも^{まも}ることをやくそくする「しょうがいしゃけんりじょうやく」ができました。これはせかい^{せかい}のしょうがいをもつなかまのいけんをきいてつくられたものです。わたしたちのすむ^{にほん}日本も、平成26年^{へいせい ねん}1月^{がつ}に、この「じょうやく」をまも^{まも}ることをきめました。

これからしょうがいのある人^{ひと}が、自分^{じぶん}のおもっていることをつたえたり、自分^{じぶん}のすきなところ^{ところ}にすんだり、せんきよをしたり、きちんときょういくをうけたり、自分^{じぶん}でやりたい仕事^{しごと}ができる^{できる}といった、いろいろなけんり^{けんり}がまも^{まも}られるようになりました。

(2) 「しょうがいしゃきほんほう」のへんこう

平成23年^{へいせい ねん}8月^{がつ}に「しょうがいしゃきほんほう」というほうりつが、かわりました。しょうがいのある人^{ひと}がこま^{こま}るのは、しょうがいのある人^{ひと}のせいではありません。しゃかいには、たくさんのばりあ^{ばりあ}があるからです。しょうがいのある人^{ひと}がこま^{こま}らないように、せいどやたてもものなどをかえていくことがひつようだ^{かた}というかんがえ方^{かた}が、国^{くに}のきまりになりました。

しょうがいのある人^{ひと}も、しょうがいのない人^{ひと}とおなじように、自分^{じぶん}のきもちをつたえたり、しゃかい^{しゃかい}にさんかできるように、いろいろなてだす^{てだす}手助け^{てだす}をすることを「ごうりてきはいりよ」といいます。「ごうりてきはいりよ」をしないことは、さべつになります。市役所^{しやくしょ}の人^{ひと}たちは、さべつをしないように、しょうがいのある人^{ひと}のいけんをきいて、ひつようなてだす^{てだす}手助け^{てだす}をしなければなりません。

(3)「しょうがいしゃさべつかいしょうほう」できたこと

あたらしくなった「しょうがいしゃきほんほう」だい4じょうの「さべつのきんし」のかんがえ方^{かた}をぐたいてきにしました。しょうがいをりゆうとするさべつをしないことを、もくてきとしています。平成^{へいせい}25年^{ねん}6月^{がつ}に「しょうがいしゃさべつかいしょうほう」という、しょうがいをりゆうにしたさべつをしないことをすすめるほうりつができました(平成^{へいせい}28年^{ねん}4月^{がつ}にはじまるよていです)。

(4) しょうがいしゃがぎゃくたいされないためのほうりつが、 はじまりました

しょうがいしゃがさべつされないために、また、おややしせつのしょくいんなどが、ぎゃくたいしないようにするほうりつが、平成^{へいせい}24年^{ねん}10月^{がつ}にはじまりました。

(5) しょうがいしゃがかかわっている会社^{かいしゃ}や作業所^{さぎょうじょ}などでつ くったものを、かってもらうためのほうりつ

平成^{へいせい}25年^{ねん}4月^{がつ}に、しょうがいしゃのいる会社^{かいしゃ}や、作業所^{さぎょうじょ}などでつくったものを、国^{くに}や、市役所^{しやくじょ}でかってもらったり、会社^{かいしゃ}や作業所^{さぎょうじょ}に仕事^{しごと}をたのんでもらうようにしました。「しょうがいしゃゆうせんちょうたつすいしんほう」という国^{くに}のきまり(ほうりつ)がはじまりました。

(6) しょうがいしゃがもっとはたらきやすくなるきまりがで きました

平成^{へいせい}28年^{ねん}4月^{がつ}から、しょうがいしゃがさべつされずに、はたらきやすいしょくばにするきまりができました。平成^{へいせい}30年^{ねん}4月^{がつ}から、せいしんしょうがいしゃもはたらきやすくなるようにきまりができました。

【ごうりてきはいりよ】とは？

しょうがいしゃが、せいかつしやすいように、しゃかいのいろいろなさべつやバリアを、とりのぞくことです。

たとえば・・・

- かいだんしかないたてものに、スロープやエレベーターをつける。
- 耳がきこえない人に、字をかいてつたえる。
- 目がみえない人には、字をよんでつたえる。
- うまくりかいすることがむずかしい人には、図をかいてせつめいする。

【しゃかいてきしょうへき】とは？

しょうがいしゃがいきていくうえで、バリアになるもののことです。

たとえば・・・

- しょうがいしゃが、はいりにくいたてもの
- しょうがいしゃにとって、つかいにくいせいどやしくみ
- しょうがいしゃのことをかんがえないでつくられた、しゃかいのかんがえ方やルール
- しょうがいしゃのことをしらないのに、かってにきめつける、さべつてきなかんがえ方（かわいそう、こわい、たいへんなど）



- *くるまいすのひとが、おみせにはいろいろしたらことわられた！
- *じしんのときに、おしらせがこえやおとだけなので、耳がきこえない人にはわからなかった！

*アパートをかりにふどうさんやにいったら、しょうがいしゃだからと、ことわられた！



第2章 国のかんがえ方と、多摩市のもくひょう

この計画は、国のかんがえ方にあわせて、つくりました。

また、これからかく3つのことにちゅういして、多摩市のしょうがいふくし計画をつくりました。

1 みんながサービスをうけられるようにするためのこと

(1) しょうがいのある人が、自分でえらんで、きめられること

しょうがいのある人が、ちいきで生活していくために、ひつようなサービスをつかいやすくするように、すすめていきます。

(2) しょうがいのしゅるいにかんけいなく、サービスがうけられること

多摩市は、どんなしょうがいがあっても、ちいきのなかでサービスがうけられるようにしていきます。

(3) しせつからでて、ちいきのなかで生活していくこと、ちいきのなかで生活をつづけること、はたらくことなどそれぞれにあわせたサービスがうけられるようにすること

しょうがいしゃが、しせつや病院からちいきへでて生活できるように、生活や、はたらくための手助けなどをしていきます。

また、しょうがいのある人のくらしを、多摩市の人たちが、みんなで手助けできるようにしていきます。

2 みんながサービスを受けられるようにするためのかんがえ方^{かた}

(1) あんしんしてちいきのなかで生活^{せいかつ}できるようにすること

おやもとからはなれて、あんしんして生活^{せいかつ}ができるように、ひとりぐらしについて、そうだんしたり、グループホーム^{ぐるーぷほーむ}がどういうところかを、たいけんすることができるようになります。

困^{こま}ったときに、助^{たす}けてくれる人^{ひと}たちがいる、多摩市^{たまし}をつくっていきます。

また、しょうがいがおもくなったり、としをとったりして、かいごしてくれる人^{ひと}がいなくなっても、ちいきでこれからもずっと生活^{せいかつ}できるようにかんがえていきます。

(2) しょうがいがあっても、ちいきのなかで、はたらけるばしょをふやしていくこと

作業所^{さぎょうしょ}やしせつではなく、会社^{がいしゃ}ではたらけるようにしていきます。また、作業所^{さぎょうしょ}の仕事^{しごと}もふやしていきます。

(3) しょうがいのある子^こどもみんながサービスを受けられるようにするためのかんがえ方^{かた}

しょうがいのある子^こどもが、多摩市^{たまし}のいろいろなサービス^{さーびす}をつかって、ちいきで、ともに生きていける社会^{しゃかい}をめざします。

しょうがいのある子^こどもやかぞくのために、助^{たす}けてくれる人^{ひと}たちといっしょに、学校^{がっこう}をそつぎょうするまで、つづけて手助け^{てたす}していけるようにしていきます。

しょうがいのある子^こどもがいけるしせつや、はいれるしせつもつくっていきます。

3 多摩市のもくひょう

この計画では、平成29年度の末までにじつげんするよう、国がさだめて
いる3つのもくひょうがあります。

(1) しせつや病院からでて、ちいきの生活にうつるしょうがいのある人

(単位：人)

しせつにはいつている人のにんずう		しせつにはいる人の にんずうの へんか	しせつや病院を でてちいきのせい かつにうつる人の にんずう
平成26年3月	平成30年3月		
73人	77人	4人ふえる	9人

(2) ちいきの生活をささえるばしょ

(単位：かしょ)

	平成26年度 いまのすうじ	平成29年度 もくひょうのすうじ
○ 地域生活支援拠点の整備（ちいきせいかつを ささえるばしょをあたらしくつくるかず）	0かしょ	1かしょ

(3) ふくししせつからでて、そとではたらくしょうがいのある人

(単位：人)

	平成24年度 いまのすうじ	平成29年度 もくひょうのすうじ
○ 福祉施設利用者の一般就労への移行者の 増加（ふくししせつからでて、そとではたらく しょうがいのある人のかず）	13人	26人

たんい にん
(単位：人)

	へいせい ねんど 平成25年度	へいせい ねんど 平成29年度
	いまのすうじ	もくひょうのすうじ
○ 就労移行支援事業の利用者の増加（はたらくことを助けるじぎょうのりようしゃのかず）	24人	38人

たんい
(単位：かしよ)

	へいせい ねんど 平成26年度	へいせい ねんど 平成29年度
	いまのすうじ	もくひょうのすうじ
○ 就労移行支援事業所の就労移行率の増加（はたらくことをじょうずに助けるじぎょうしよのかず）	0かしよ	1かしよ
総事業所数（ぜんぶのじぎょうしよすう）	0かしよ	1かしよ
就労移行率3割以上の事業所数（そとではたらく人が多いじぎょうしよのかず）	0かしよ	1かしよ
	0%	100%

だい しょう さーびす 第3章 サービスをどのくらいふやすかについて

1 サービスのけいさんのしかたなど

サービスのけいさんは、今までのけっかをみて、これからのサービスのお金をけいさんしていきます(しょうがいがある子どもがいく学校をそつぎょうしたあとの、りようしゃなどもけいさんにいれています)。

また、「平成25年度多摩市しょうがいしゃ生活じったいちょうさ」(このさき「平成25年度じったいちょうさ」とかく)のけっかをかんがえにいれています。しかし「平成25年度じったいちょうさ」では、しょうがいしゃでちょうをもっていない人は、はいっていません。なおりにくいびょうきになっている人や、はったつしょうがいの人などのこともわかっていません。

この計画よりも、たくさんサービスがひつようになったときは、それにあわせて、サービスもふやしていこうとおもいます。

2 サービスをふやすほうほう

しょうがいしゃを助ける人が、たりていません。助ける人も、としをとっている人がふえています。また、助ける人がはたらきやすくなるようにすることも、もんだいとなっています。だから、人をさがしたりべんきょうかいをして、助ける人をふやすほうほうをかんがえたり、わるいところをよくするように、はたらきかけていきます。そして、グループホームや作業所を助けたり、かつどうばしょをさがします。

3 だい4き計画のりよう

かいごをりようしているしょうがいしゃのすうじは、平成24年度、すこしのあいだけすくなくなりましたが、平成23年度のすうじとくらべると、ふえています(平成23年りようした人が249人から、平成26年278人にふえました)。

これからも、少しずつふえていくことが、つづくとかんがえています。

かいごをりようしている時間のすうじは、じゅうどほうもんかいごなど、ながい時間かいごをりようするしょうがいしゃがふえています。

だい4き計画では、ながい時間かいごがないとだめな人がふえることもかんがえて、平成26年4月から9月のあいだの、かいごをりようした時間をもとに、どれぐらいかいごがあればいいかをけいさんしました。

平成27年4月から、3年間のサービス計画

1. しょうがいのある人の家についてするサービス			
	平成27年	平成28年	平成29年
①居宅介護（きょたくかいご） 家の中で、お風呂、トイレ、しよくじ、せんたく、かいものなどのかいご			
②重度訪問介護（じゅうどほうもんかいご） 手や足など、からだにおもいしょうがいのある人、ちてきにおもいしょうがいのある人、せいしんしょうがいのおもい人へのかいご	①～⑤のサービスをうけるしょうがいのある人ぜんぶあわせて	①～⑤のサービスをうけるしょうがいのある人ぜんぶあわせて	①～⑤のサービスをうけるしょうがいのある人ぜんぶあわせて
③同行援護（どうこうえんご） 目のみえない人が、そとにでるときに、必要なかいご	288人	296人	304人
④行動援護（こうどうえんご） ちてきにおもいしょうがいのある人が、そとにでたりかつどうするときに、必要なかいご	月に 17,840 時間	月に 18,416 時間	月に 18,992 時間
⑤重度障がい者等包括支援（じゅうどしょうがいしゃとうほうかつしえん） しょうがいのおもい人が、生活するために必要なかいごサービスをくみあわせてつかいます			

第3期（平成24年度から平成26年度のできたこと、できなかったこと）

	24年度	25年度	26年度
	実績	実績	上半期実績
①居宅介護（きょたくかいご）	289人	277人	278人
家の中で、お風呂、トイレ、しよくじ、せんたく、かいものなどのかいご			
②重度訪問介護（じゅうどほうもんかいご）	12,252	13,451	16,567
手や足など、からだにおもいしょうがいのある人、ちてきにおもいしょうがいのあるひと、せいしんしょうがいのおもい人へのかいご			
③同行援護（どうこうえんご）	12,252 時間/月	13,451 時間/月	16,567 時間/月
目のみえない人が、そとにでるときに、必要なかいご			
④行動援護（こうどうえんご）	12,252 時間/月	13,451 時間/月	16,567 時間/月
ちてきにおもいしょうがいのある人が、そとにでたりかつどうするときに、必要なかいご			
⑤重度障がい者等包括支援 （じゅうどしょうがいしゃとうほうかつしえん）	12,252 時間/月	13,451 時間/月	16,567 時間/月
しょうがいのおもい人が、生活するために必要なかいごサービスをくみあわせてつかいます			

平成27年4月から、3年間のサービス計画

2. ひるまのいろいろなかつどうをささえるサービス			
	平成27年	平成28年	平成29年
①生活介護（せいかつかいご）	232人 月に 4,640日	242人 月に 4,840日	252人 月に 5,040日
しせつなどで、しょうがいのおもいひとが、さまざまなかつどう活動をするとときに必要なかいご			
②自立訓練（機能訓練）[じりつくんれん（きのうくんれん）]	4人 月に72日	4人 月に72日	4人 月に72日
しせつなどで、生活のために必要な体のくんれんをすること。困ったときにそうだんすること			
③自立訓練（生活訓練）[じりつくんれん（せいかつくんれん）]	10人 月に 150日	10人 月に 150日	10人 月に 150日
せいしんしょうがいやちてきしょうがいのあるひとが、作業所などで、生活のために必要なくんれんをすること。困ったときにそうだんすること			
④就労移行支援（しゅうろういこうしえん）	45人 月に 675日	51人 月に 765日	56人 月に 840日
はたらきたいとのぞむしょうがいのあるひとに、くんれんをしたり、はたらく所をさがすのを助けること			
⑤就労継続支援（A型）[しゅうろうけいぞくしえん（えーがた）]	20人 月に 440日	25人 月に 550日	30人 月に 660日
はたらきたいとのぞむしょうがいのあるひとが、助けを受けながらはたらくこと。けいやく（はたらきつづけるためのやくそくときまり）があります			
⑥就労継続支援（B型）[しゅうろうけいぞくしえん（びーがた）]	401人 月に 6,617日	413人 月に 6,815日	425人 月に 7,013日
はたらきたいとのぞむしょうがいのあるひとが、助けを受けながら、はたらくこと			
⑦療養介護（りょうようかいご）	25人 月に 760日	25人 月に 760日	25人 月に 760日
びょういん病院にはいっているおもいしょうがいのあるひとが、まいにちの生活のかいごやくんれんを受けること			
⑧短期入所（たんきにゅうしょ）	105人 月に 420日	110人 月に 440日	115人 月に 460日
かいごしているひとが病気や、用事でかいごできないときに、しせつにみじかいあいだ泊まること			

第3期（平成24年度から平成26年度のできたこと、できなかったこと）

	24年度	25年度	26年度
	実績	実績	上半期実績
①生活介護（せいかつかいご）	206人	212人	211人
しせつなどで、しょうがいのおもい人が、さまざまな活動をするとときに必要なかいご	3,718 日/月	3,911 日/月	4,049 日/月
②自立訓練（機能訓練）【じりつくんれん（きのうくんれん）】	2人	1人	3人
しせつなどで、生活のために必要な体のくんれんをすること。困ったときにそうだんすること。	8日/月	18日/月	30日/月
③自立訓練（生活訓練）【じりつくんれん（せいかつくんれん）】	13人	14人	4人
せいしんしょうがいやちてきしょうがいのある人が、作業所などで、生活のために必要なくんれんをすること。困ったときにそうだんすること。	161日/月	178日/月	45日/月
④就労移行支援（しゅうろういこうしえん）	43人	39人	34人
はたらきたいとのぞむしょうがいのある人に、くんれんをしたり、はたらく所をさがすのを助けること	404日/月	463日/月	489日/月
⑤就労継続支援（A型）【しゅうろうけいぞくしえん（えーがた）】	1人	10人	15人
はたらきたいとのぞむしょうがいのある人が、助けを受けながらはたらくこと。けいやく（はたらきつづけるためのやくそくときまり）があります	22日/月	111日/月	217日/月
⑥就労継続支援（B型）【しゅうろうけいぞくしえん（びーがた）】	377人	377人	370人
はたらきたいとのぞむしょうがいのある人が、助けを受けながら、はたらくこと	4,795日/月	5,247日/月	5,712日/月
⑦療養介護（りょうようかいご）	23人	25人	25人
病院にはいっているおもいしょうがいのある人が、まいにちの生活のかいごやくんれんを受けること	674日/月	746日/月	760日/月
⑧短期入所（たんきにゅうしょ）	113人	104人	95人
かいごしている人が病気や、用事でかいごできないときに、しせつにみじかいあいだ泊まること	303 日/月	347 日/月	376 日/月

平成27年4月から、3年間のサービス計画

3. グループホームとしせつ			
	平成27年	平成28年	平成29年
①グループホーム（ぐるーぷほーむ） しょうがいのある人たちが、アパートや家で、お世話してくれる人に生活のついでを受けながら、いっしょにくらすこと（お金のつかい方や、しょくじのよういなど）	サービスを受けるしょうがいのある人ぜんぶ合わせて 80人 月に2,432日	サービスを受けるしょうがいのある人ぜんぶ合わせて 85人 月に2,584日	サービスを受けるしょうがいのある人ぜんぶ合わせて 90人 月に2,736日
グループホーム施設整備（定員数） （ぐるーぷほーむしせつせいびていいんすう）グループホームにはいれる人のかず	64人 （うち精神16人、知的48人）	69人 （うち精神16人、知的53人）	74人 （うち精神16人、知的58人）
②施設入所支援（しせつにゆうしょしえん） まいにちの生活のついでを受けながらしせつでくらすこと	77人 月に2,340日	77人 月に2,340日	77人 月に2,340日

第3期（平成24年度から平成26年度のできたこと、できなかったこと）

	24年度	25年度	26年度
	じっせき実績	じっせき実績	かみはんきじっせき上半期実績
グループホーム（共同生活援助）・ ケアホーム（共同生活介護） しょうがいのある人たちが、アパートや家で、お世話してくれる人に生活のついでを受けながら、いっしょにくらすこと（お金のつかい方や、しょくじのよういなど）	61人 1,477日/月	70人 1,681日/月	68人 1,687日/月
グループホーム・ケアホーム施設整備 （定員数）	54人 （うち精神16人、知的38人）	54人 （うち精神16人、知的38人）	54人 （うち精神16人、知的38人）
施設入所支援（しせつにゆうしょしえん） まいにちの生活のついでを受けながらしせつでくらすこと	77人 2137日/月	77人 2,369日/月	77人 2,363日/月

平成27年4月から、3年間のサービス計画

4. いろいろなそうだんについてのサービス			
	平成27年	平成28年	平成29年
①計画相談支援（けいかくそうだんしえん）			
どれぐらいかいごが必要か、サービスの計画をつくること	月に153人	月に159人	月に165人
②地域移行支援（ちいきいこうしえん）			
しせつや病院をでて、ちいきで生活するためにそうだんすること	3人	3人	3人
③地域定着支援（ちいきていちゃくしえん）			
しせつや病院をでて、ちいきで生活するため、困ったときに、そうだんしたり、手助けすること	3人	3人	3人

第3期（平成24年度から平成26年度のできたこと、できなかったこと）

	24年度	25年度	26年度
	実績	実績	上半期実績
①計画相談支援（けいかくそうだんしえん）			
どれぐらいかいごが必要か、サービスの計画をつくること	0人/月	8人/月	36人/月
②地域移行支援（ちいきいこうしえん）			
しせつや病院をでて、ちいきで生活するためにそうだんすること	1人	0人	0人
③地域定着支援（ちいきていちゃくしえん）			
しせつや病院をでて、ちいきで生活するため、困ったときに、そうだんしたり、手助けすること	0人	0人	0人

平成27年4月から、3年間のサービス計画

5. しょうがいのある子どもを助けるためのサービス			
	平成27年	平成28年	平成29年
①障害児支援利用援助(しょうがいじしえんりょうえんじょ)			
しょうがいのある子どもに、どれぐらいかいごが必要か、サービスの計画をつくること	53人	64人	74人
②継続障害児支援利用援助(けいぞくしょうがいじしえんりょうえんじょ)			
サービスの計画に、必要なみなおしをおこなうこと			
③児童発達支援(じどうはったつしえん)			
学校にはいるまえのしょうがいのある子どもの、体や心のせいちょうを助けること	79人 月に790日	89人 月に890日	99人 月に990日
④医療型児童発達支援(いりょうがたじどうはったつしえん)			
体がふじゆうなししょうがいのある子どものちりょうや、せいちょうを助けること	5人 月に25日	5人 月に25日	5人 月に25日
⑤放課後等デイサービス(ほうかごとうでいさーびす)			
学校に通うしょうがいのある子どもに、放課後に生活のくねんなどをおこなうこと	171人 月に2,006日	201人 月に2,358日	216人 月に2,534日
⑥保育所等訪問支援(ほいくしょとうほうもんしえん)	多摩市では、ほいくしょとうほうもんしえんの けいかくはありません		
保育所などでしょうがいのある子どもの生活に必要な手助けを子どもや先生におこなうこと			

第3期（平成24年度から平成26年度のできたこと、できなかったこと）

	24年度	25年度	26年度
	実績	実績	上半期実績
児童発達支援（じどうはったつしえん） 学校にはいるまえのしょうがいのある子どもの、体や心のせいちょうを助けること	11人 月に62日	59人 月に550日	64人 月に596日
医療型児童発達支援（いりょうがたじどうはったつしえん） 体がふじゆうなしょうがいのある子どものちりょうや、せいちょうを助けること	5人 月に25日	0人 月に0日	0人 月に0日
放課後等デイサービス（ほうかごとうでいさーびす） 学校に通うしょうがいのある子どもに、放課後に生活のくんれんなどをおこなうこと	40人 203日/月	103人 930日/月	127人 1,138日/月
保育所等訪問支援（ほいくしょとうほうもんしえん） 保育所などでしょうがいのある子どものせいかつに必要な手助けを子どもや先生におこなうこと	0人 0日/月	0人 0日/月	0人 0日/月

第4章 みんなでささえるサービス

平成27年4月から、3年間のサービス計画

1. ちいきでの生活を助けるためのサービス		平成27年	平成28年	平成29年
①理解促進研修・啓発事業（りかいそくしんけんしゅう・けいはつじぎょう）		1かしょ	1かしょ	1かしょ
ちいきの人にしょうがいしゃのことをりかいしてもらうために、しみんにべんきょうかいなどをおこなうとりくみ				
②自発的活動支援事業（じはつてきかつどうしえんじぎょう）		1かしょ	1かしょ	1かしょ
しょうがいしゃがちいきでくらするように、しみんがせっきよくてきにおこなっているかつどうを、多摩市が助ける				
③障害者相談支援事業（しょうがいしゃそうだんしえんじぎょう）		おこなうところ 行う所 4かしょ （じりつしえんきょうぎかい1）	おこなうところ 行う所 4かしょ （じりつしえんきょうぎかい1）	おこなうところ 行う所 4かしょ （じりつしえんきょうぎかい1）
困ったときや、あたらしくサービスをりようしたいときに、そうだんにのるところ。じりつしえんきょうぎかいは、しみんのだいひょうがあつまって、多摩市のふくしぜんたいの話しあいをするとところ				
④基幹相談支援センター等機能強化事業（きかんそうだんしえんせんたーとうきのうきょうかじぎょう）		おこなうところ 行う所 1かしょ （市役所）	おこなうところ 行う所 1かしょ （市役所）	おこなうところ 行う所 1かしょ （市役所）
そうだんを受けてくれるところを、助けること				
⑤住宅入居等支援事業（じゅうたくにゅうきょとうしえんじぎょう）		0かしょ	0かしょ	1かしょ
しょうがいしゃが、ちいきで生活する家がみつからないとき、いっしょに探したり、おおやさんと話したりして、助けること				
⑥成年後見制度利用支援事業（せいねんこうけんせいどりようしえんじぎょう）		おこなうところ 行う所 1かしょ	おこなうところ 行う所 1かしょ	おこなうところ 行う所 1かしょ
生活していくときに、だまされたり、お金をとられたりしないように、しょうがいのある人を守ること				
⑦成年後見制度法人後見支援事業（せいねんこうけんせいほうじんこうけんしえんじぎょう）		0かしょ	0かしょ	0かしょ
ふくしだんたいが、お金のつかい方やけいやく（やくそく）がうまくできるよう、しょうがいしゃを手助けすること。多摩市は「多摩南部成年後見センター」でおこなう。				
⑧意思疎通支援事業（いしそつうしえんじぎょう）		57人	58人	59人
みみのきこえない人のために、手話や筆記をつかって、会話を助けること	しゅわつうやくしゅはけん 手話通訳者派遣			
	ようやくひっきしゃはけん 要約筆記者派遣	5人	6人	7人

第3期（平成24年度から平成26年度のできたこと、できなかったこと）

	ねんど 24年度	ねんど 25年度	ねんど 26年度
	じっせき 実績	じっせき 実績	かみはんき 上半期 じっせき 実績
障害者相談支援事業（しょうがいしゃそうだんしえんじぎょう） 困ったときや、あたらしくサービスをりようしたいときに、 そうだんにのるところ	3 かしよ	3 かしよ	3 かしよ
地域自立支援協議会（ちいきじりつしえんきょうぎかい） しみんのだいひょうがあつまって、多摩市のふくしぜんたいの話しあいをするところ	1 かしよ	1 かしよ	1 かしよ
基幹相談支援センター等機能強化事業（きかんそうだんしえんせんたーとうきのうきょうかじぎょう） そうだんを受けてくれるところを、助けること	1 かしよ	1 かしよ	1 かしよ
住宅入居等支援事業（きょたくにゅうしょとうしえんじぎょう） しょうがいしゃが、ちいきで生活する家がみつからないとき、いっしょに探したり、おおやさんと話したりして、助けること	0 かしよ	0 かしよ	0 かしよ
成年後見制度利用支援事業（せいねんこうけんせいどりようしえんじぎょう） 生活していくときに、だまされたり、お金をとられたりしないように、しょうがいのある人を守ること	にん 0人	にん 0人	にん 0人
コミュニケーション支援（こみゆにけーしょんしえん） （手話通訳者派遣）（しゅわつうやくしゃはけん） 耳のきこえないひとの、会話を、手話で助ける	にん 56人	にん 51人	にん 50人
コミュニケーション支援（こみゆにけーしょんしえん） （要約筆記者派遣）（ようやくひっきしゃはけん） 耳がきこえないひとの会話を、字でかいて助ける	にん 5人	にん 4人	にん 4人

平成27年4月から、3年間のサービス計画

	平成27年	平成28年	平成29年
◎日常生活用具の給付（にちじょうせいかつようぐのきゅうふ）			
しょうがいがあるため、生活にひつようなものを市役所がだすこと			
かいごする時に使うリフトなど	20 けん	20 けん	20 けん
体のしょうがいにあわせた トイレなど	28 けん	28 けん	28 けん
くすりをのむためにひつような きかいなど	32 けん	32 けん	32 けん
耳がきこえない人などに フアックスなど	32 けん	32 けん	32 けん
おしっこやうんちがうまく出せ ない人を助ける道具	3,000 けん	3,150 けん	3,300 けん
体のしょうがいにあわせて家の 中をなおすこと	8 けん	8 けん	8 けん
⑩手話奉仕員養成研修事業（しゅわほうしいんようせいけんしゅうじぎょう）	36回	36回	36回
手話のべんきょうかい			
⑪移動支援事業（いどうしえんじぎょう）			
ひとりで出かけることがむずかしい人のために、出かけるためのてつだいをすること			
てつだいをたのめる場所	47 かしょ	50 かしょ	53 かしょ
てつだいを受ける人の数	165 人	170 人	175 人
てつだいを受ける時間	月に 2,167 時間	月に 2,232 時間	月に 2,299 時間
⑫地域活動支援センター （ちいきかつどうしえんせんたー）	おこなうところ 行う所 I型2 かしょ 1月に 100 人	おこなうところ 行う所 I型2 かしょ 1月に 110 人	おこなうところ 行う所 I型2 かしょ 1月に 120 人
しょうがいのある人が、ひるまにそうさくかつどう、そうだんなどをおこなうばしょ			

第3期（平成24年度から平成26年度のできたこと、できなかったこと）

	24年度	25年度	26年度
	実績	実績	上半期実績
日常生活用具給付等事業（にちじょうせいかつようぐきゅうふとうじぎょう）			
しょうがいがあるため、生活にひつようなものを市役所がだすこと	2,789 けん	2,776 けん	1,438 けん
かいごする時に使うリフトなど	15 けん	11 けん	6 けん
体のしょうがいにあわせたトイレなど	33 けん	35 けん	10 けん
くすりをのむためにひつようなきかいなど	29 けん	29 けん	11 けん
耳がきこえない人などにファックスなど	35 けん	32 けん	8 けん
おっこやうんちがうまく出せない人を助ける道具	2,671 けん	2,659 けん	1,402 けん
体のしょうがいにあわせて家の中をなおすこと	6 けん	10 けん	1 けん

移動支援事業（いどうしえんじぎょう）

ひとりで出かけることがむずかしい人のために、出かけるためのてつだいをすること

てつだいをたのめる場所	38 かしよ	42 かしよ	45 かしよ
てつだいを受ける人の数	154 人	165 人	144 人
てつだいを受ける時間	1,866 時間/月	2,097.5 時間/月	2100.5 時間/月

地域活動支援センター（ちいきかつどうしえんせんターⅠ型）	2 かしよ	2 かしよ	2 かしよ
	40 人数/日	37 人数/日	69 人数/日
しょうがいのある人が、ひるまにそうさくかつどう、そうだんなどをおこなうばしよ	0 かしよ	0 かしよ	0 かしよ
	0 人数/日	0 人数/日	0 人数/日
地域活動支援センターⅢ型	0 かしよ	0 かしよ	0 かしよ
	0 人数/日	0 人数/日	0 人数/日

平成27年4月から、3年間のサービス計画

2. そのほかのいろいろなサービス			
	平成27年	平成28年	平成29年
① 日中一時支援事業（にっちゅういちじしえんじぎょう）			
しょうがいのある人が、昼間すごせるところ			
すごせる場所	14 かしょ	14 かしょ	14 かしょ
りようする人のかず	106人	106人	106人
すごす時間（いちばん多いとき）	つき 月に 549時間	つき 月に 549時間	つき 月に 549時間
②社会参加促進事業（しゃかいさんかそくしんじぎょう）			
しょうがいのある人の、ちいきでのかつどうを助けること			
スポーツ・レクリエーションをする会	1回	1回	1回
びじゅつてん（絵やしやしん）など	14回	14回	14回
てんじや声でおしらせ	28回	28回	28回
しょうがいのある人が車のめんきょをとるための助け	5人	5人	5人
バスのかしだし	1年で 20回	1年で 20回	1年で 20回
ふくしセンターへのおくりむかえ（プールなど）	1ヶ月で 103人	1ヶ月で 112人	1ヶ月で 118人

第3期（平成24年度から平成26年度のできたこと、できなかったこと）

	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績
日中一時支援事業（にっちゅういちじしえんじぎょう）			
しょうがいのある人が、 昼間 すごせるところ			
すごせる場所	14 かしょ	14 かしょ	14 かしょ
りようする人のかず	111人	101人	89人
すごす時間（いちばん多いとき）	つき 月に 592時間	つき 月に 512時間	つき 月に 543時間
社会参加促進事業（しゃかいさんかそくしんじぎょう）			
しょうがいのある人の、ちいきでのかつどうを助けること			
スポーツ・レクリエーションをする かい 会	かい 0回	かい 1回	かい 0回
びじゅつてん（絵やしゃしん）など	かい 14回	かい 14回	かい 5回
てんじや声でおしらせ	かい 29回	かい 29回	かい 14回
しょうがいのある人が車のめんきよ をとるための助け	にん 6人	にん 1人	にん 0人
ばす バスのかしたし	にん つき 489人/月	にん つき 370人/月	なくなりました
ふくしセンターへのおくりむかえ （プールなど）	にん つき 159人/月	にん つき 105人/月	にん つき 95人/月



だい しょう けいかく かた 第5章 計画のすすめ方

1 たまし かた 多摩市のとりくみ方

しょうがいのある^{ひと}人の生活^{せいかつ}にかかわりのある、ふくし、子^こそだて、ほけん、いりょう、きょういく、まちづくり、ぼうさいなどにかかわるしょくいんが、みんなで^{きょうりょく}協力してこの^{けいかく}計画をすすめていきます。

しょうがいのある^{ひと}人、おとしよりなど、多摩市^{たまし}にすむみんなが、ちいきで^{せいかつ}あんしんして生活できるようなしくみをかんがえていきます。

2 けいかく 計画がちゃんとすすんでいるかをたしかめる

この^{けいかく}計画がちゃんとすすんでいるか、すくなくとも1^{ねん}年に1かいはしらべたり、なにかもんだいがあったら、^{はな}話しあってなおしていきます。

「しょうがいしゃちいきじりつしえんきょうぎかい」がちゅうしんとなつて、^{たまし}多摩市やしょうがいのある^{ひと}人たち、じぎょうしょをやっている^{ひと}人などが、あつまり^{はな}話しあいをします。

3 ちいきといっしょになったとりくみ

この^{けいかく}計画をすすめるためには、ぎょうせいだけでなく、ちいきのいろいろな^{ひと}人たちの^{きょうりょく}協力がひつようです。

そのため、しょうがいのある^{ひと}人、かんけいするだんたい、^{ほらんていあ}ボランティアの人たち、ふくし^{さーびす}サービスのじぎょうしょ、ほけん、いりょう、きょういく、そのほかのかんけいするところや、ちいきの^{ひと}人たちの^{きょうりょく}協力とさんかによつて、この^{けいかく}計画をすすめていきます。

4 せいどがかわっていくので、それにあわせた^{たまし}多摩市のじゅんび

^{へいせい}平成26年^{ねん}1月^{がつ}から「しょうがいしゃけんりじょうやく」を^{にほん}日本も、せかいの^{くに}国々とおなじように、^{まも}守ることになりました。

そのほかにも、いろいろなほうりつや、せいどがあたらしくできたり、かわってきています。

^{へいせい}平成28年^{ねん}4月からは「しょうがいしゃさべつかいしょうほう」がはじまります。それにむけて、^{いま}今、^{くに}国や^{たまし}多摩市は、ぐたいてきになにをどうしたらいいのかわ、^{かんが}かんがえてじゅんびをしています。

「しょうがいしゃゆうせんちょうたつすいしんほう」は、しょうがいのある^{ひと}人の^{しごと}仕事、^{おほ}もっと多くなるようにしていきます。はたらきながら、^{じぶん}自分らしい^{せいかつ}生活や、ちいきで^い生きていけるようにめざします。

5 ^{くに}国や^{とうきょうと}東京都にやってほしいこと

しょうがいのある^{ひと}人、といってもみんなそれぞれしょうがいや、ひつような^{さーびす}かいごやサービスが^{ちが}ちがいます。^{たまし}多摩市だけでなく、^{くに}国や^{とうきょうと}東京都といっしょに、この^{けいかく}計画をすすめていきます。

さらによいせいどとなるよう、^{くに}国や^{とうきょうと}東京都に、^{はなし}話をしていきます。

^{たまし}多摩市だけでは、^{かね}お金がたりないので、^{くに}国や^{とうきょうと}東京都に、おねがいしていきます。

むずかしいことや^{こま}困ったことなども、^{くに}国や^{とうきょうと}東京都と、^{はなし}話をつづけ、しょうがいのある^{ひと}人の^{くら}くらしがよりよくなるように、とりくんでいきます。

しりょうへん

1 多摩市にすんでいる人の、にんずうのへんか

平成26年度に、多摩市にすんでいる人のかずは、145,659人です。
むかしにくらべて、おとしよりのかずが、だんだんふえてきています。

2 しょうがいしゃてちょうをもっている人のかず

多摩市にすんでいて、しょうがいしゃてちょうをもっている人のかずは、平成26年には、しんたいが4,160人、ちてきが911人、せいしんが1,154人、です。しょうがいしゃてちょうをもっている人のかずが、だんだんふえていきます。とくに、せいしんしょうがいしゃのてちょうをもっている人のかずが、ふえてきています。

しんたいは、子どもが106人、おとなが1,406人、おとしよりが2,648人です。

ちてきは、子どもが237人、おとなが643人、おとしよりが31人です。

せいしんは、子どもが22人、おとなが979人、おとしよりが153人です。

せいしんしょうがいがあって、病院にかよっている人のかずは、だんだんふえていきます。平成26年度は、2,246人です。

しょうがいしえんくぶん (平成26年4月1日のとき)			
くぶん			ごうけい
くぶん1	しんたい	2	12
	ちてき	4	
	せいしん	6	
くぶん2	しんたい	25	89
	ちてき	25	
	せいしん	39	
くぶん3	しんたい	40	151
	ちてき	67	
	せいしん	44	
くぶん4	しんたい	19	100
	ちてき	77	
	せいしん	4	
くぶん5	しんたい	27	74
	ちてき	47	
	せいしん	0	
くぶん6	しんたい	87	114
	ちてき	27	
	せいしん	0	
ごうけい	しんたい	200	540
	ちてき	247	
	せいしん	93	

*しょうがいしえんくぶんは、しょうがいのある人がどのくらい^{ひと}手助けが^{てだす}ひつようかによってわけたもの。くぶん1～6まであり、すうじがおおきい人がたくさん^{ひと}手助けが^{てだす}ひつよう、ということ。

3 しょうがいしゃにかんけいする、お金のへんか

多摩市がつかうふくしのお金（しょうがいしゃふくしひ）と、しょうがいしゃがサービスをつかうときにかかるお金（サービスきゅうふひ）は、だんだんふえています。

しょうがいふくしのお金については、平成21年度は24おく7321まん8せんえん、平成25年度は34おく2676まん9せんえんでした。サービスきゅうふのお金については、平成21年度は10おく2303まん6せんえん、平成25年度は20おく3816まん6せんえんでした。

4 多摩市がもっているお金の、これからどうなっていくか

平成30年までは、はいるお金もつかうお金も、ほとんどおなじですが、5年間でだいたい42おくえんのお金が、たりなくなるとかんがえられます。

5 計画ができるまではなしあい

(1) しみんいんかい

かいすう 回数	ねんつきにち 年月日	ないよう 内容
だい 第1回	へいせいねん 平成26年 がつにち 9月16日	(1) すけじゅーる スケジュール (2) けいかく 計画について
だい 第2回	がつにち 10月14日	(1) しんたい 身体ぶかいといけんこうかん (2) ちてき 知的ぶかいといけんこうかん
だい 第3回	がつにち 10月28日	(1) せいしん 精神ぶかいといけんこうかん (2) じぎょうしょ 事業所ぶかいといけんこうかん
だい 第4回	がつにち 11月25日	(1) けいかく 計画について (2) わかりやすいけいかくばんについて
だい 第5回	へいせいねん 平成27年 がつにち 1月27日	(1) けいかく 計画について (2) ぱぶりくくこめんと パブリックコメントによせられたいけんについて

(2) ぶかい

ねん つき ち 年 月 日	ない よう 内 容
へいせい ねん 平成26年 がっ ち 8月26日	せつめいかい (1) けいかく 計画のないようについて (2) すけじゅーる スケジュールについて (3) いいんかい・ぶかいのないようについて (4) それぞれのぶかいからのいいんのえらびかたについて
がっ ち 9月25日	(1) しんたい ちてき せいしん じぎょうしょ 身体・知的・精神・事業所4つにわかれてのいけんあつめ
へいせい ねん 平成27年 がっ ち 1月19日	(1) けいかく 計画のせつめい (2) ばぶりっくこめんと パブリックコメントによせられたいけんについて

(3) パブリックコメント

ねん つき ち 年 月 日	ない よう 内 容
へいせい ねん がっ ち 平成26年12月19日 へいせい ねん がっ ち ～平成27年1月9日	いけんをだした人：6人 いけん：13件

(4) さくていいんかい

かい すう 回 数	ねん つき ち 年 月 日	ない よう 内 容
だい かい 第1回	へいせい ねん 平成26年 がっ ち 7月30日	(1) けいかく 計画について (2) すけじゅーる スケジュール
だい かい 第2回	がっ ち 8月21日	(1) けいかく 計画について
だい かい 第3回	がっ ち 12月11日	(1) けいかく 計画について
だい かい 第4回	へいせい ねん 平成27年 がっ ち 2月10日	(1) ばぶりっくこめんと パブリックコメントによせられたいけんについて (2) けいかく 計画について

6 しみんいいんかいをつくるときのきまり

この計画をつくるためのひつようなことをきめるために、しょうがいしゃ団体のだいひょう、大学の先生、おいしゃさん、しせつや作業所のしょくいんなど19人のいいんがあつまり、話しあうことやぶかいについてきめました。

かいぎは、だれでもききにくることができます。ききにきたい人のためにひつような、てんじ、しゅわつうやく、ようやくひつきなどをよういします。ききたい人は、1しゅうかんまえまでにもうしこんでください。

てんじ、しゅわつうやく、ようやくひつきなどがひつような人は、3しゅうかんまえまでにもうしこんでください。

7 しみんいいのなまえ

No.	氏名	所属
1	いわはし せいじ 岩橋 誠治	たこの木クラブ
2	うえくさ ひさこ 植草 久子	とうきょうとりつ たまきくら おかがくえん 東京都立多摩桜の丘学園
3	おちあい たみこ 落合 多美子	えぬびーおーほうじん NPO法人 たすけあいの会ほれぼれ
4	おりかさ とみこ 折笠 富子	じりつすてーしょん 自立ステーションつばさ
5	かって はるゆき 勝手 春幸	しょう しょうざん 障がい者相談員
6	きたやま ふみこ 北山 文子	わーくせんたー ワークセンターれすと
7	きむら えいこ 木村 英子	た ま し ざい た く し ょ う が い し ゃ ほ し ょ う か ん が 多摩市在宅障害者の保障を考える会
8	さいとう み さ お 齊藤 美三男	しゃかいふくしほうじん にほんしんしんしょうがいじきょうかい 社会福祉法人 日本心身障害児協会
9	さとう きよみ 佐藤 享美	しゃかいふくしほうじん まさゆめ 社会福祉法人 正夢の会
10	しどう ゆういち 紫藤 勇市	しゃかいふくしほうじん けいこうふくしかい 社会福祉法人 啓光福祉会
11	すすき たかお 鈴木 孝男	た ま ち ゅ う お う び ょ う い ん 多摩中央病院
12	たきざわ たけはる 瀧澤 威晴	いっぱんしゃだんほうじん 一般社団法人ぱうず
13	たけうち こうじ 竹内 康二	めいせいだいがく 明星大学
14	だてやま ひろこ 立山 裕子	しゃかいふくしほうじん た ま し し ゃ か い ふ く し き ょ う ぎ か い 社会福祉法人 多摩市社会福祉協議会
15	つしま かな子 對馬 かな子	とうきょうとみなみたまほけんじょ 東京都南多摩保健所
16	なかはら さとみ 中原 さとみ	さくらがねかきねんびょういん 桜ヶ丘記念病院
17	はまだ せいきち 濱田 清吉	えぬびーおーほうじん た ま し し ょ う が い し ゃ ふ く し き ょ う かい NPO法人 多摩市障害者福祉協会
18	ふせ ちづこ 布施 千鶴子	た ま し し か く し ょ う が い し ゃ ふ く し き ょ う かい 多摩市視覚障害者福祉協会
19	やまざき まこと 山崎 誠	た ま し ち ょ う かく し ょ う が い し ゃ き ょ う かい 多摩市聴覚障害者協会

8 ぶかいのなまえ

No.	だんたいめい じぎょうしゃめい 団体名・事業者名	ぶかいてい 部会名	No.	だんたいめい じぎょうしゃめい 団体名・事業者名	ぶかいてい 部会名
1	た ま し ちょうかくしょうがいしやきょうがい 多摩市聴覚障害者協会	しんたい 身体	23	えぬびーおーほうじん みらいじゅ NPO法人わこうど 未来樹	せいしん 精神
2	た ま し しかくしょうがいしやふくしきょうがい 多摩市視覚障害者福祉協会	しんたい 身体	24	えぬびーおーほうじん わこうどじゅく NPO法人わこうど 若人塾	せいしん 精神
3	えぬびーおーほうじん こみゆにていーね NPO法人 コミュニティーネ ットワーク	しんたい 身体	25	えぬびーおーほうじん うりうふくしかい NPO法人 瓜生福祉会	せいしん 精神
			26	わーくせんたー ワークセンターれすと	せいしん 精神
4	えぬびーおーほうじん た ま し ちょうかくしょう NPO法人 多摩市聴覚障が い者情報活動センター	しんたい 身体	27	えぬびーおーほうじん た ま く さ かい NPO法人 多摩草むらの会	せいしん 精神
5	えぬびーおーほうじん た ま し しんたい NPO法人 多摩市身体 しょうがいしやふくしきょうがい 障害者福祉協会	しんたい 身体	28	た ま ちゅうおうびょういん 多摩中央病院	せいしん 精神
6	た ま し ざいたくしょうがいしや ほしょう かんが 多摩市在宅障害者の保障を考 える会	しんたい 身体	29	えぬびーおーほうじんしょうがいしやじりつしえん NPO法人障害者自立支援 せんたー多摩 わーくす多摩 センター多摩 ワークス多摩	せいしん 精神
7	きじゅんがいとうじぎょうしょ つばさぐみ 基準該当事業所 つばさ組	しんたい 身体	30	さんくらぶた ま サンクラブ多摩	せいしん 精神
8	ぐりーんぴーすこうぼう 工房	ちてき 知的	31	ほっと・はうすわん ONE	じぎょうしゃ 事業者
9	えぬびーおーほうじん くぬぎ NPO法人	ちてき 知的	32	えぬびーおーほうじん あびりていくら NPO法人 アビリティクラ ぶたすけあい多摩たすけあい ワーカーズつむぎ	じぎょうしゃ 事業者
10	えぬびーおーほうじん こうぼうまてりある NPO法人 工房マテリアル	ちてき 知的			
11	えぬびーおーほうじん あしたやきょうどうきかく NPO法人 あしたや共働企画	ちてき 知的			
12	えぬびーおーほうじん た ま し ー び ー NPO法人多摩ジーピー キャンピー	ちてき 知的	33	えぬびーおーほうじん かい NPO法人 たすけあいの会 ほれほれ	じぎょうしゃ 事業者
13	こらぼた ま わーくせんたー コラボたま ワークセンター つくし親の会	ちてき 知的	34	えぬびーおーほうじん はんでいきやぶ NPO法人 ハンディキャブ ゆづり葉	じぎょうしゃ 事業者
14	じりつすてーしょん 自立ステーションつばさ	ちてき 知的	35	かぶしきがいしやらいふけあさーびす 株式会社ライフケアサービス	じぎょうしゃ 事業者
15	えぬびーおーほうじん どんぐりばん NPO法人どんぐりパン	ちてき 知的	36	いっばんしゃだんほうじん ぱうず 一般社団法人 ぱうず	じぎょうしゃ 事業者
16	たこのきくらぶ たこの木クラブ	ちてき 知的	37	あいむざいたくけあせんたーた ま AIM在宅ケアセンター多摩	じぎょうしゃ 事業者
17	たまして おや かい 多摩市手をつなぐ親の会	ちてき 知的	38	けいこうぞうだんしえんせんたー 啓光相談支援センター	じぎょうしゃ 事業者
18	えぬびーおーほうじん きほう NPO法人暉望	ちてき 知的	39	ちいきかつどうしえんせんたー 地域活動支援センター 「のーま」	じぎょうしゃ 事業者
19	けいこう おや かい 啓光えがお 親の会	ちてき 知的			
20	けいこう 啓光えがお	ちてき 知的	40	らいふ	じぎょうしゃ 事業者
21	けいこうがくえん 啓光学園	ちてき 知的	41	ぴーすふる	じぎょうしゃ 事業者
22	あ る ま AROMA	ちてき 知的	42	なかまのき 樹	じぎょうしゃ 事業者

9 市役所のいいんかいをつくるときのきまり

この計画をつくるためのひつようなことをきめるために、多摩市役所のしょくいん11人のいいんがあつまり、ひつようなことを話しあいできめました。

10 計画をつくるときにもらったいけん

○しょうがいのことを、もっとりかいしてもらうために、ひつようなことはなにか。

- ・ 耳のきこえない人が、話がつうじるように、手話ができる人がひつようです。今はいろいろなところにはいないので、困っています。とくに病院やしょうぼうしょ、ぎんこうや会社には、手話ができる人がいるようにしてほしいので、市役所の人からもきちんとってください。
- ・ 学校で、しょうがいしゃのことをわかってもらえるように、おしえてほしい。
- ・ 多摩市で、「さべつきんしじょうれい」をつくって、しみんの人といっしょにべんきょうするきっかけをつくってほしい。さべつをなくすためのべんきょうかいをして、しみんの人に、もっとしょうがいしゃのことをしてもらうようにしてほしい。それからちいきの人、しょうがいしゃのことをりかいしたり、さんせいしてくれるように、すすめてほしい。
- ・ しょうがいしゃのことをもっとしてもらうかつどうをしているところには、市からお金をだして助けてほしい。
- ・ しょうがいしゃへのさべつをなくすため、しみんの人にさべつにきづいてもらうことがたいせつです。多摩市として、さべつをなくすことはたいせつで、いそいでやっていかなければならないことだということを、計画にかいてほしい。

○しょうがいしゃがすむ場所について

- ・ しょうがいのあるこうれいしゃが、いくばしょがないので、グループホームやしせつをふやしてほしい。
- ・ グループホームをふやすことだけではなくて、すむばしょをどうやってみつけるかということがたいせつです。
- ・ URじゅうたくやとえいじゅうたく、しえいじゅうたくといった、すみやすい家

に、はいりやすくしてほしい。

- ・ といじゅうたくをりようして、1かいはグループホームにするなど、しょうがいしゃがすめるようにする。そのなかにそうだんするところもあれば、あんしんしてすみつづけられるのではないか。
- ・ ふつうの^{あば}アパートをかりようとしたときに、ほしょうにんきょうかいにたのもうとすると、たくさんお金を、自分ではらわなくてはならないので、多摩市が、なにかしえんをしてほしい。

○しょうがいしゃを^{たす}助ける^{さーびす}サービスについて

- ・ 今の^{いま}移動^{いどう}しえんじぎょう（そとにでかけるときのつきそいかいご）は、いってはいけない、やってはいけないというきまりもおおく、お金もたくさんかかる。今は、^{しょうがくせい}小学生は、^{いっかげつ}1月に^{じかん}5時間、^{ちゅうがくせい}中学生と^{こうこうせい}高校生は、^{いっかげつ}1月に^{じかん}10時間しか、がいしゅつできないというきまりだが、しょうがいのない子どもにくらべて、すくなすぎる。そとにでて、いろいろまなんだり、たのしんだりするために、時間を、もっとふやしてほしい。
- ・ 目のみえない^{ひと}人が、そとにでかけるときの、^{てだす}手助けの^{じかん}時間が、すくない。いきたいときにいきたいところにいけるようにしてほしい。
- ・ ^{へる}ヘルパーは、いそがしくて、とおくまでけんしゅうにいくのがたいへんなので、ちかい^{たまし}多摩市で、かいごにひつようなけんしゅうができる^{たす}と助かる。
- ・ かいごしている^{ひと}人が、ようじがあつていそがしかったりつかれたりしたときに、すこしのあいだしせつにはいる、たんきにゅうしょという^{さーびす}サービスがあります。しかし、なつやすみなどは、いっばいで、りようできないので、^{へる}ヘルパーさんなど、ほかの^{さーびす}サービスをつかって、あんしんしてらせるようにしてほしい。
- ・ 「^{けいかく}計画にくらべて、^{さーびす}サービスがあまりつかわれなかった」ばあい、それは、つかいたかったけれど、つかいにくかったというばあいもある。どうやったらみんながつかいやすくなるか、かんがえていくことがひつようです。「この^{さーびす}サービスは、あまりつかわれなかったから、^{けいかく}計画をへらそう」というのでは、よけいつかいにくくなってしまいます。

〇かいごやサービスをつかうためのそうだん

- ・ これからは、かいごやサービスをうけるためには、そのまえに計画をつくらなければならない。そのことをしょうがいしゃほんにん、そのかぞく、じぎょうしょなどにきちんとしらせることがひつようである。また計画をつくるじぎょうしょと、かいごするじぎょうしょとで、ちゃんとれんらくをとっていないと、じっさいとはちがう計画ができてしまう。
- ・ かいごやサービスの計画をつくるじぎょうしょが、もっとふえてほしい。
- ・ せいしんしょうがいしゃのことを、よくしているじぎょうしょが、計画をたてるひつようがある。
- ・ 計画をつくるじぎょうしょは、お金がすくなくてたいへんなので、助けてほしい。そのことを、多摩市から国にきちんとつたえてほしい。

〇ちいきせいかつしえんじぎょう (ちいきでくらししていくためにひつようなしえん)

- ・ 多摩市で、「さべつきんしじょうれい」をつくって、しみんのひとといっしょにべんきょうするきっかけをつくってほしい。しみんのひとに、もっとしょうがいしゃのことをしてもらおうようにしてほしい。
- ・ 「せいねんこうけんせいど」とはどんなせいどか、知らない人が多いので、どんなことを助けてくれるのか、お金はかかるのかなど、くわしいことをみんなにおしらせするひつようがある。
- ・ 「ほうかごデイサービス(ほうかごすごす場所)」とか「にっちゅういちじほご(ひるますごせるところ)」などの、しょうがいをもった子どもがりようできるしえんがすくなくて、子どものいくところがない。
- ・ 耳のきこえない人を助ける、手話つうやくの人が、ひつようなときにいつでも助けてくれるようにしてほしい。今はひつような日の5日まえまでにれんらくをしななければならなかったり、1月に20時間までしかつかえないので困っている。
- ・ 「じはつてきかつどうしえんじぎょう」というせいどをつかって、じっさいにかつどうしているだんたいやグループに、お金をえんじょするといいいのではないか(たとえば、じしんなどがあつたときに車いすの人がりようできる大きなトイレをおいたり、ちいきにすんでいる人が、車いすの人が困らないか、だんさなどをしらべる、まちのバリアチェックなどのかつどう)。

○はたらく手助け

- ・ はたらく場所である会社や作業所は、はたらくしょうがいしゃのかずをふやしたいとおもっても、お金^{かね}がたりなくてふやせない。あたらしいほうりつなどもつかって、きゅうりょうをあげることがひつよう。
- ・ 多摩市^{たまし}は、会社^{かいしゃ}がすくなく、仕事^{しごと}がすくないので、多摩市^{たまし}がおうえんすることがひつようである。
- ・ はたらく手助け^{てだす}については、とくに作業所^{さぎょうしょ}のにんずうがふえていないし、はたらく場所^{ばしょ}もすくない。「しょうがいしゃゆうせんちょうたつすいしんほう」をりょうして、しょうがいしゃに仕事^{しごと}をまわしたり、はたらける会社^{かいしゃ}をふやすことがひつようである。

○ちいきかつどうしえんセンター（しょうがいのある人が、ひるまにそうさくてきかつどうやこうりゅう、そうだんなどをおこなう場所）

- ・ ちいきかつどうしえんセンター^{せんたー}は、ちかくのちいきごとに、すくないにんずうであつまれるところがひつようで、それぞれのところでふんいきややることがちがっていい。とくにながやまぢくはないので、つくったほうがよい。
- ・ ちいきかつどうしえんセンター^{せんたー}は、しょうがいしゃについて、おおくの人^{ひと}にしゃってもらえるようなかつどうをふやすことがひつようである。
- ・ コミュニティーセンター^{せんたー}をしょうがいしゃがりょうして、まわりの人^{ひと}によくしゃってもらうこともひつようである。

○ネットワーク・協力^{きょうりょく}について

- ・ 市役所^{しやくしょ}と、しょうがいしゃにかかわるところとの、れんらくやきょうりょくができていない。
- ・ サービスの計画^{けいかく}をつくるところと、しょうがいしゃにかかわっているところとが、じゅうぶんれんらく・協力^{きょうりょく}ができていないので、そのほうほうをおしえてほしい。
- ・ 国^{くに}のせいどやほうりつが、どんどんかわるので、市役所^{しやくしょ}の人^{ひと}は、なにがかわるの

か、サービスをするじぎょうしょの^{ひと}人をあつめて、せつめいしてほしい。そうすればよくわかるし、まちがわなくてすむ。

○手助けしてくれる人をどうふやすか

- ・ しょうがいしゃをかいごしてくれる^{ひと}人、しえんしてくれる^{ひと}人がすくない、すぐやめてしまう、しえんしてくれるところもすくない。これは、しんたいしょうがい、ちてきしょうがい、せいしんしょうがい、すべてのしょうがいについていえることです。多摩市^{たまし}がせっきょくてきに、^{たす}助けてほしい。
- ・ しえんしてくれる^{ひと}人がすくないし、しえんしてくれる^{ひと}人や、うんてんしゅがとしをとってできなくなっていくというもんだいもある。
- ・ そとにでるときにてつだってくれる^{ひと}人をふやすことと、きちんとてつだいができるようになってほしい。
- ・ せいしんしょうがいをもつ^{ひと}人のことをよくわかってしえんしてくれるところがすくない。
- ・ それぞれのしょうがいにあつたヘルパー^{へるぱー}がないというもんだいがある。
- ・ これまでにべんきょうしてしかくをとつたヘルパー^{へるぱー}さんで、じっさいに^{しごと}仕事をしていない^{ひと}人もいるので、多摩市^{たまし}からその^{ひと}人たちによびかけて、あつめてほしい。

○ちいきせいかつきょてん（ちいきでくらすしょうがいしゃをささえる^{ばしょ}場所）

- ・ いまは、しょうがいをもつ^{ひと}人がすむ^{ぐるーぷ}グループホームなど、たてものをたてる^むときに、ちいきの^{ひと}人からはんたいがあつたり、とちがたかくてかえない。あたらしくたてものをつくることはむずかしいとおもう。24時間^{じかん}いつでもしえんできる^{ひと}人もいないし、そのための^{かね}お金もたりない。
- ・ ちいきでくらすしょうがいしゃをささえる^{ばしょ}場所をあたらしくつくることはむずかしいが、すむところをしえんしたり、そうだんをしたりするなど、いろいろな^{ひと}人がちからをあわせていくことはできるのではないか。
- ・ せいしんしょうがいをもっている^{ひと}人が、ひつようになったときすぐに、とまれる^{ばしょ}場所をふやすことがひつよう。

○この計画をつくるときのすすめ方

- まえにつくった計画づくりのときも、こんかいも、じゅうぶん話しあいがされていない。かいすうもすくないが、もっとはやくから話しあいをはじめるなどのくふうがひつようではないかとおもう。
- 計画づくりのせつめいかいのまえに、多摩市のおしらせで、「ぶかい」はどんなことをするのか、きちんとわかるようにしてほしい。
- これまでどれだけのサービスがつかわれたか、つかわれなかったか、そのりゆうなどをかんがえることがひつよう。
- 話しあいの時間をふやせばいいのか、話しあいのやりかたをかえたほうがいいのか。「ぶかい」でだされたいけんをまとめたり、市役所からだされるしりょうを、まえもってくばるなどくふうすることがひつよう。アイデアをだしていくこともひつよう。お金がかかってむずかしいこともあるだろうが、お金のこといがかいでもくふうできることがあるとおもう。

11 「しょうがいしゃ生活じったいちょうさ」について

この計画は、平成25年12月に、しょうがいしゃがどうやって生活しているかをしらべたけっかをみながらつくりました。

多摩市にすんでいる、しょうがいしゃてちょうをもっている人たちに、てがみをおくってしつもんこたえてもらいました。だいたい、はんぶんくらいの人たちが、しつもんこたえてくれました。もっとくわしいことをしりたい人は、市役所や多摩市のとしょかんでみるすることができます。ホームページもあります。

URL→<http://www.city.tama.lg.jp/kenkou/26/000843.html>

12 いろんなことばのいみ

インフォーマルサービス

ほうりつ（国のきまり）などにかんけいなくやる、いろんな手助けのこと。

グループホーム

おせわする人に、生活にひつようなことをてつだってもらいながら、なんにんかのしょうがいしゃといっしょにすむ家のこと。

けんりようご

自分のけんりをうまくつかうことがむずかしいおとしよりや、にんちしょうの人、しょうがいしゃのかわりに、ほかの人がその人のけんりをつかうのを助けること。

ケアホーム

そうじ、せんたく、ごはんをつくったりするだけでなく、ごはんをたべるときやおふろにはいるとき、トイレのときにもしよくいんにてつだてもらう、すくないにんずうのしせつのこと。平成26年4月から、グループホームにまとまった。

こうじのうきのうしょうがい

こうつうじこやびょうきで、あたまのなかがきずついて、しょうがいができること。
たとえば、

- いろんなことをおぼえられなくなる
- なにかをかんがえるときに、しゅうちゅうできなくなる
- いままでとちがうことをしてしまう
- うまくことばがしゃべれなくなる

などのしょうがいがある。

ごうりてきはいりよ

しょうがいしゃがせいかつしやすいように、しゃかいのバリア^{ばりあ}をとりのぞくこと。
たとえば、

- もじをかい^{はな}たりよんだりすることで話しをする
- くるま^{くるま}いす^{いどう}で移動するときにたす^{たす}
- 学校^{がっこう}や市役所^{しやくしょ}、病院^{びょういん}などをくるま^{くるま}いす^{いす}の人がつかいやすいようにかえる
- その人^{ひと}にあわせて、会社^{かいしゃ}にいく時間^{じかん}や、やすむ時間^{じかん}をきめるなど。

じどうはったつしえんセンター

しょうがいのある子ども^こがかようところ。からだのうごかし方^{かた}や、ひとりぐらしにひつようなことをおそわったり、いろいろな人^{ひと}といっしょに生活^{せいかつ}するためのれんしゅうをするところ。

しゃかいてきしょうへき

しょうがいしゃが生活^{せいかつ}するときにバリア^{ばりあ}となる、たてものやきまり、人^{ひと}のかんがえ方^{かた}のこと。

しょうがいしゃきほんほう

しょうがいのある人^{ひと}がひとりぐらしをしたり、しゃかいにできることをたす^{たす}けるためにつくった、国^{くに}のきまりのこと。

しょうがいしゃけんりじょうやく

しょうがいしゃが自分のことを自分できめたり、しょうがいしゃもほかの人とおなじようにいられるためにつくられた、せかいのやくそく。これには、しょうがいしゃのけんりを守るためのきまりがかいてある。日本は、平成26年1月にこのきまりを守ることにした。

しょうがいしゃさべつかいしょうほう

「しょうがいをりゆうとするさべつのかいしょうのすいしんにかんするほうりつ」をみじかくしたなまえ。しょうがいしゃきほんほうにあわせて、しょうがいがあるからとさべつされることがないように、^{くに}国がつくったきまり。

しょうがいしゃそうごうしえんほう

平成25年4月1日から、「しょうがいしゃじりつしえんほう」のなまえがかわって、「しょうがいしゃの^{せいかつ}にちじょう生活および^{せいかつ}しゃかい生活をそうごうてきにしえんするためのほうりつ（しょうがいしゃそうごうしえんほう）」になった。しょうがいしゃのなかに、なんびょうの^{ひと}人たちをいれたり、じゅうどほうもんかいごのせいどをつかえる^{ひと}人をふやしたり、^{けあほーむ}ケアホームを^{ぐるーぷほーむ}グループホームにまとめたりした。

じりつしえんきょうぎかい

しょうがいやふくしにかんけいする^{ひと}人たちが、知っていることをおたがいにつたえて、ちいきにあるもんだいをなくすために^{はな}話しあうこと。

せいねんこうけんせいど

しょうがいがあって、^{じぶん}自分のお金^{かね}のかんりやけいやく（やくそく）をするのがむずかしい^{ひと}人のために、その^{ひと}人のかわりにできないことをやったり、その^{ひと}人ができるようにつつだうせいど。

なんびょう

「こうせいろうどうしょう」という役所やくしょがきめた、とくべつなびょうきのこと。びょうきになったりゆうや、なおし方かたがわからず、しょうがいがのこるかもしれないびょうきのことをいう。平成25年4月へいせい ねん がつから、「しょうがいしゃそうごうしえんほう」のしょうがいしゃ（しょうがいじ）のなかに、なんびょうの人ひとたちもはいて、しょうがいしゃむけのせいどがうけられるようになった。

はったつしょうがい

まだちいさい子どもこのころにでてくる、いろんなしょうがいをまとめたなまえ。たとえば、

- 「じへいしょうすべくとらむ」→ほかの人ひととちがうことをしたり、人ひととうまくしゃべっていっしょにあそぶことがむずかしい
- 「がくしゅうしょうがい」→もじをよんだり、かいたり、人ひとの話はなしをきいたりすることがむずかしい
- 「ちゅういけっかん・たどうせいしょうがい」→まわりがきになってうごきまわったり、あぶないことにきづくことがむずかしいなどのしょうがいのこと。

ほうじんこうけん

しょうがいしゃのために、ふくしだんたい（しゃかいふくしほうじん、いっばんしゃだんほうじんなど）が、お金かねのかんりやけいやくの手助けてだすをすること。

リハビリテーション

しょうがいしゃなどがしゃかいせいかつがうまくできるように、からだをうごかしたりいろんなくんれんをすること。

いんさつぶつばんごう
印刷物番号 27-3

けいかくばん
《わかりやすい計画版》

だい きたまししょうがいふくしけいかく
第4期多摩市障害福祉計画

たまし ひと
(多摩市が、しょうがいのある人のふくしを、

けいかく
どれだけふやしていくかという計画)

へいせい ねんど へいせい ねんど
(平成27年度～平成29年度)

へいせい ねん がつはっこう
平成27(2015)年3月発行

きょうりよく じりつすてーしょん
協力 自立ステーションつばさ

へんしゅう はっこう とうきょうとたましけんこうふくしぶしょうがいふくしか
編集・発行 東京都多摩市健康福祉部障害福祉課

ゆうびんばんごう
郵便番号206-8666

とうきょうとたましせきど ちょうめ ばんち
東京都多摩市関戸6丁目12番地1

でんわ ちやくつう
電話042(338)6847(直通)

頒布価格 150円

